

第2期 保健事業実施計画(データヘルス計画)

健康リスクの高い人向けに「1人ひとりに合わせた」医療・服薬情報や生活習慣改善の方法を提供し、自分のカラダの健康の自己管理能力を高めること（セルフケア）で生活習慣病の重症化を防ぎ、最期まで元気にイキイキと暮らすことをめざします。

3つの対策事業

1 健診未受診者対策

未受診理由別の対策

【忙しく健診を受ける時間がない人向け】

「スマホドック」(簡易血液検査キット)を導入し健診未受診者へ検査を実施することにより、まずはカラダの状態を知ってもらい健診の受診につなげる。

【自分で健診(人間ドック等)を受けている人向け】

人間ドック受診者から結果を提供してもらい健康状態を把握することにより、必要な保健指導等につなげる。

2 重症化予防事業

健診・医療・服薬情報データ分析による生活習慣改善指導

生活習慣の改善が必要な人には、1人ひとりの状態に合わせた予防プログラム(病態・食事・運動についての専門家による指導)を提供し、健康を自己管理できるようにすることで、症状の改善を図る。

健診結果から健康リスクの高い人のうち、医療機関未受診者・受診中断者・服薬中断者を抽出し、継続した治療や服薬の必要性を通知する。

3 服薬情報通知

健診・医療・服薬情報データ分析による重複服薬者の抽出

重複服薬による健康被害を防止し、医療費の抑制につなげるために、疾病状況や服薬状況を分析し、服薬による健康リスクのある人を抽出し、服薬情報を通知する。